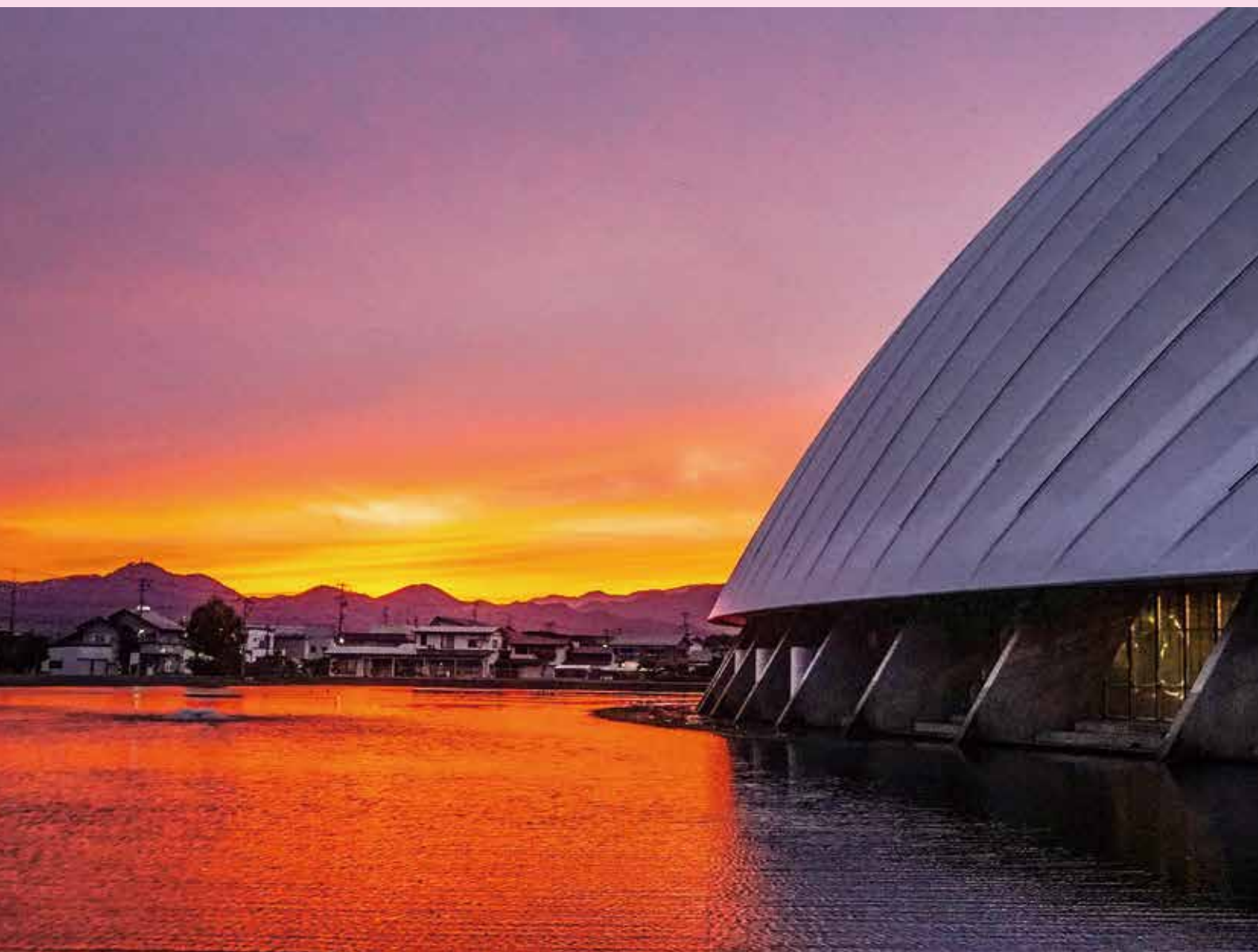


おおだて 

令和6年2月1日 151号

# 市議会だより



## ニプロハチ公ドームからの夕焼け

令和5年12月定例会 議案等の審議結果…	▶	2
議会報告会のお知らせ…	▶	4
一般質問…	▶	5
常任委員会から…	▶	12
私もひ・と・こ・と…	▶	14

# 12月定例会の主な議案等の審議結果



令和5年12月定例会は、11月20日から12月7日までの18日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告2件、条例案7件、単行案10件、予算案14件、同意1件など、合計34件でした。

ここでは、審議の結果の主なものをお知らせします。

## 条例案

原案  
可決

- 議案第97号 大館市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
- 議案第98号 大館市手数料条例の一部を改正する条例案
- 議案第99号 大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 議案第118号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第119号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第120号 大館市職員の給与に関する条例及び大館市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第121号 大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案

## 単行案

原案  
可決

- 議案第100号 財産の取得について（土地 柄沢字小柄沢1番外34筆）
- 議案第101号 大館市特別養護老人ホームつくし苑の指定管理者の指定について
- 議案第102号 大館市養護老人ホーム成章園の指定管理者の指定について
- 議案第103号 大館市デイサービスセンターかつらの指定管理者の指定について
- 議案第104号 大館市デイサービスセンター大滝の指定管理者の指定について
- 議案第105号 大館市ケアハウスほうおうの指定管理者の指定について
- 議案第106号 大館市大館地域の公園施設の指定管理者の指定について
- 議案第107号 大館市比内地域の体育施設及び公園施設の指定管理者の指定について
- 議案第108号 大館市田代地域の体育施設及び公園施設の指定管理者の指定について
- 議案第109号 市道路線の認定について（芦田子1号線）

## 補正予算案

原案  
可決

- 議案第110号 令和5年度大館市一般会計補正予算(第9号)案
- 議案第111号 令和5年度大館市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)案
- 議案第112号 令和5年度大館市介護保険特別会計補正予算(第2号)案
- 議案第113号 令和5年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算(第1号)案
- 議案第114号 令和5年度大館市水道事業会計補正予算(第2号)案
- 議案第115号 令和5年度大館市下水道事業会計補正予算(第2号)案
- 議案第116号 令和5年度大館市病院事業会計補正予算(第3号)案
- 議案第122号 令和5年度大館市一般会計補正予算(第10号)案
- 議案第123号 令和5年度大館市介護保険特別会計補正予算(第3号)案
- 議案第124号 令和5年度大館市都市計画事業特別会計補正予算(第1号)案
- 議案第125号 令和5年度大館市水道事業会計補正予算(第3号)案
- 議案第126号 令和5年度大館市工業用水道事業会計補正予算(第3号)案
- 議案第127号 令和5年度大館市下水道事業会計補正予算(第3号)案
- 議案第128号 令和5年度大館市病院事業会計補正予算(第4号)案

## 12月定例会に提出された陳情

採 択

- 陳情第8号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情
- 陳情第9号 国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情
- 陳情第11号 秋田県に対して、「子供の医療費助成を中学から高校卒業まで引き上げることを求める意見書提出の陳情書

継続審査

- 陳情第10号 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情

## 継続審査となっていた請願・陳情

採 択

- 請願第1号 地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願

継続審査

- 請願第2号 大規模災害による農地・農産物等の継続的補償制度を国に求める請願書
- 陳情第3号 学校給食費の無償化を求める陳情書
- 陳情第4号 ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
- 陳情第6号 日本犬・秋田犬の保存・振興に寄与する広報の一環の実施
- 陳情第7号 学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、学級編成標準と基礎定数の改善による正規教員増を国に要請することについて



議会報告会のお知らせ

# 次のまちづくりを 話し合いませんか！

テーマ

- ①除雪
- ②クマ対策
- ③大館市病院事業経営強化プラン（案）
- ④おおだて未来づくりプラン（仮称）（案）

日時 令和6年2月6日(火) 18:00 - 20:00

場所 中央公民館 2階視聴覚ホール（大館市字桜町南45-1）

- ・途中入退場自由です。お気軽にご参加ください。
- ・普段着でお越しください。私たち議員も平服で参加します。

## 大館駅インランドデポ構想実現への展望は

田中 耕太郎 議員（令和会）



〈問〉 大館駅インランドデポ構想実現への展望は。

〔市長〕 政府は10月の閣議決定で「2030年度の輸送力不足解消に向けて可能な施策の前倒しを図る」とし、柱の一つに「モーダルシフトの推進」を掲げている。今回、大館駅で実施された国際海上コンテナの輸送に関する調査もその一環であるが実現には国の主体的な関与が欠かせない。本市では、金属リサイクル企業が年4万トン超の原料を輸入し、レアメタルを回収する一方で、人工透析に使われるダイアライザの世界シェア2位を誇る企業が工場を増設するなど、日本と世界をつなぐ静脈物流と動脈物流が今後も拡大す

ると見込まれる。これまで港湾で行われていた通関手続きを大館で受けられ、低コスト化と環境負荷低減という高付加価値が図られることにより、企業競争力向上につながると考える。市では、インランドデポ推進協議会としての活動を通じ、多くの人の思いを結集して取り組んでいく。

〈問〉 米代水系河川整備計画の変更と運動した道の駅創出を。

〔市長〕 今回の計画変更では、水防活動拠点となる防災関連施設の市への整備を検討していただいている。河川情報の発信など危機管理体制の強化につながると期待している。

〈問〉 米代川水系の渇水時の対応や利水に注目すべき。

〔市長〕 渇水対策については、多目的ダム築造や遊水池整備の可能性を関係機関と協議している。利水を含め、水害時の洪水調整などダムの必要性は高まっており、引き続き施策を検討する。

一般質問の全文は、3月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

## 一般質問

## パークゴルフ場を開設してはどうか

花岡 有一 議員（令和会）



〈問〉 鹿角市、小坂町、北秋田市にはパークゴルフ場があるが、大館市にはない。健康増進、フレイル予防、認知症予防にも良いと思うが、市長の考えは。

〔市長〕 パークゴルフは気軽に始められるスポーツであり、健康増進に寄与すると捉えているが、人口減少が進み、限られた財源で行政サービスを安定的・持続的に提供していかなければならないことから、市単独での整備は難しい。近隣の北秋田市、小坂町、鹿角市には、日本パークゴルフ協会の公認コースが整備されていることから、広域で連携し、それぞれが持つインフラや資源を有効活用してまいりたい。

給食費の徴収・管理は  
公会計化すべき

〈問〉 公会計化することにより、徴収業務や滞納者への督促が自治体の役割になり、教職員の負担軽減につながると思うが、市の考えは。

〔教育長〕 公会計化が進められた背景は、多額の給食費の滞納が累積し、回収が見込めない自治体が増加したことにある。回収事務を行う学校側の負担増、PTA会計などから充当する処理に対する疑問、給食の質や量の調整で対応するなどの処置への不満が重なり、その対応に窮した結果と理解している。市では滞納自体が10年以上発生しておらず、問題は存在していない。これは保護者の健全な責任意識の表れと受け止めており、少なくとも現在の大館市においては、公会計化するメリットが見いだせない。



## 大館駅前交差点の改良と低所得世帯支援の 一世帯当たり7万円支給の年内実施を

おばた  
小畑 新一 議員（公明党）



は、早期に解決すべき課題である。建物の解体を含めた今後の取り扱いについて協議している。議会に相談しながら対応したい。

〔問〕 令和6年度に行われる予定の地域福祉計画の見直し作業について問う。市民が福祉活動や地域の福祉についての意見をしっかりと持てるよう、町内会ごとの会合を持ち、その上で、地域福祉計画の見直し作業を丁寧に進めるべきではないか。

〔市長〕 議員が指摘のとおり、自助・互助・共助・公助の取り組みを進めるに当たり、町内会等での話し合いを重ね、福祉活動への理解を深めていくことが重要だ。福祉の専門職の方々と連携・協議をしながら、地域の自助・互助・共助・公助の仕組みがしっかりと機能する計画を策定する。

〔問〕 大館駅前の交差点について、秋田犬の里と新大館駅舎の人の往来が増えることが予想される。御成町から来る車両が左折する場合の見通しが良くないので、改良する必要があるのではないか。

〔市長〕 当該箇所の見通しの悪さ

〔問〕 大規模災害の発生に備えるための災害ケースマネージメントの導入について問う。最近の異常気象などにより、大館市でも大規模災害が発生することが予想される。避難生活が数か月及びことも想定し、被災者一人ひとりに寄り添える災害ケースマネージメントの導入を進めるべきでは。

〔市長〕 本市でもこの取り組みの重要性を認識しており、避難生活が長期化した場合の人員の確保や支援体制の整備に取り組んでいる。また、市民一人ひとりに寄り添う体制の取り組みは、災害ケースマネージメントに生かせるものと捉えている。

〔問〕 長引く物価高騰対策としての重点支援地方交付金の予算化を、スピード感を持って進めることが大館市の景気下支えに重要ではないか。

〔市長〕 一世帯当たり7万円の支援については、今夏に非課税世帯に3万円を支給した口座情報を利用したプッシュ型の給付金の年内支給を目指す。

## 一般質問

大館市議会

検索

クリック

クマの人身被害と野遊びSDGs 五色湖キャンプ場整備について  
地域ふれあい除雪支援事業について  
小学校プール施設の在り方について

はなだ  
花田 強 議員（市民の風）



〔問〕 ツキノワグマによる人身被害が増加している現在、五色湖キャンプ場整備の見直しをすべきでは。また、仮にオープンした時は五色湖祭りは開かれるのか。

〔市長〕 野遊びSDGs事業で整備を進めている五色湖エリアにおいては、クマ等の野生生物の出没が想定される。このため、食べ残しやごみを放置しないなど基本的なルールの徹底や出没した際の対応マニュアルの整備のほか、キャンピングファイアードでの秋田犬を活用したクマよけなども検討していく。また、五色湖祭りは地域主体となって新たな形で開催されることを期待する。

地域ふれあい除雪支援事業について

〔問〕 問口除雪に従事している人も高齢になっており、このまま推移

すると、この事業は先細りになってしまいかねない。若者を巻き込む施策が必要と思うが、市長の考えは。

〔市長〕 本事業に限らず、若い世代の地域活動への参画は地域コミュニティの形成には欠かせないものであり、すでに活動している事例もある。こうした若い世代の姿を広く紹介し、現在実施している高齢者地域支え合い支援事業や生活支援体制整備事業など、あらゆる機会を通じて、支え合いの意識の醸成と支援体制の仕組みづくりに努めていく。

小学校のプール施設の在り方について

〔問〕 今夏の猛暑でプールサイドの床面のコンクリートが焼け石のようになり、やけどをした児童がいるが、今後の対策は。

〔教育長〕 夏場のプール使用期間中は、プールサイドの床面が高温になるため、日よけ用のテントを張ったり、サンダルを履かせるなどの対応を取っており、子どもたちの安全を最優先に実施してきた。しかし、例年になく異常な暑さで高温になったことにより発生したものと考えられる。今後とも猛暑の夏になることが予想されるので、類似の事故が発生しないよう、児童生徒の安全な水泳授業に取り組んでいく。

## 市が徴収・管理する給食費の「公会計化」について

今泉 まき子 議員（日本共産党）



〔問〕 2019年1月の中教審答申で、給食費の徴収・管理は「自治体による徴収を基本とすべきだ」としているが、大館市でも教員の負担軽減のため導入すべきでないか。

〔教育長〕 学校納金はすべて口座振替により納入されるシステムとなっており、直接、教員の手を煩わせることは一切ない状態である。本市では10年以上給食費の滞納は発生していない。公会計化の導入により、未納分は市が負担することになるため、滞納や未納が懸念される。また、教員の負担軽減にもつながらないため公会計化の予定はない。

### 年度途中の保育園入園希望者の受け入れについて

〔問〕 保育園の待機児童は令和5年の年度初めは3人となっているが、年度途中の産休や育休明けでの入園希望者のニーズに対応できているか。

〔市長〕 保護者の産後休暇、育児休暇明けのタイミングで年度途中に待機児童が発生している。万、市全体

の園児数は毎年100人程度減少している。今後、年度途中の受け入れを含め、公立と民間の機能分担を明確にした受け入れ体制を検討し、未就学施設全体の需要と供給の調整を図りつつ、待機児童解消に努めていく。

### 高齢者の補聴器購入の助成について

〔問〕 高齢者の認知症を患う危険因子の一つに難聴が挙げられている。補聴器購入費の助成をするべきである。

〔市長〕 市では、現在、聴覚に障害のある方を対象に補聴器の購入費用の助成等を実施している。国で現在進めている「補聴器の装着の有無による認知機能への影響に関する研究」の結果が公表される予定となっていることから、国の動向を注視していく。

### 18歳までの医療費完全無料化について

〔問〕 子どもの医療費についてはこの8月から助成対象を広げたが、さらに進めて完全無料化のために来年度の予算措置を要望する。

〔市長〕 本市においても、来年度から所得制限を撤廃する方向で調整を進めている。非課税世帯及び0歳児は全額助成、それ以外は所得にかかわらず半額助成とし、一医療機関に支払う自己負担額の上限を月1000円とするものである。

一般質問の全文は、3月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

## 一般質問

## スマート農業の推進について 大館市家族会議の創設について

菅原 喜博 議員（令和会）



〔問〕 ロボット技術やAI（人工知能）、情報通信技術などの先端技術を活用するスマート農業は、作業の自動化、無人化、ロボット化を実現し、担い手不足の解消にもつながる技術である。人口減少下における農業の持続的な発展と食料の安定供給実現のため、導入推進に市の力強い後押しを望む。

〔市長〕 スマート農業に対応した農業機械や受信機の購入、自動走行技術の精度を高める固定基地局の利用料など、農業者の経費負担が大きいため、市では昨年度からスマート農業機器等の導入への支援を行っている。引き続き本制度による支援を進めるとともに水土里ネット秋田による地図情報システムの活用を検討し、スマート農業を推進してまいりたい。

### 大館市家族会議の創設について

〔問〕 市長が提唱する大館市家族会議は、今後どのような展開を想定しているのか。また現在行っているさまざまな子育て支援施策とどのように関わってくるのか。

〔市長〕 大館市家族会議の考え方は市民に対するあらゆる施策で、個人ではなく社会構成の基本単位である家族で捉え直すということにある。暮らしをつないで内に優しい大館市を実現するため、従来の子育て支援策を踏まえつつ、家族中心の政策を形成し、多様な家族の形を前提とした基盤や機能の強化を図るものである。政策立案においては、経済的支援だけでなく、働き方改革の推進等を通じ子どもや家族、地域社会の中で過ごす時間を増やすことなど、家族を取り巻く環境整備が重要であり、市が持つ家族構成などのデータを分析・活用するとともに大館市家族会議を全庁で横断的に取り組むための意思決定部門と位置付け、総合的な家族政策を積極的に推進してまいりたい。



- ① パワハラ防止条例の制定
- ② 駅なか交流センターの966万円の維持管理費
- ③ エレベーターの20年分の維持更新費3888万円の  
前払いについて

佐藤 芳忠 議員 (市民の風)



〈問〉 6月議会で市の職員へのパワハラ発言があったため、私達市民の風の8人の市議は議長に「市議による市職員へのパワハラの禁止と処罰」をお願いしましたが、適切な措置が講じられなかったため、市の職員を守るため、パワハラ防止条例の制定が必要と考え質問するものです。

パワハラ防止条例は議員と市町村長等のパワハラを防止するものです。愛知県の東郷町長のような、職員へ退職を強要するような発言は、決して許されるものではありません。

世田谷区のハラスメント条例の前文には「議員の力を不正に利用したハラスメントは断じて許されない」と書かれています。このように議員と市長村長等のパワハラを防止するため全国で条例が制定されています。

大館市の職員はパワハラによる辛い思いに耐えています。市職員を市

議会議員や市長や幹部職員のパワハラから守るため、パワハラ防止条例を制定しなくてはならないと考えます。

〔市長〕 要綱に基づき、職員の相談に対応する体制を整えています。

〈問〉 駅なか交流センターの維持管理費は、2016年は市の使用部分分は314m<sup>2</sup>で、借上料は施設管理費が入った390万円でした。しかし今年の9月、JRは市に年966万円の維持管理費を示しました。突然、390万円が966万円に跳ね上がったのです。JRは駅のトイレや倉庫や通路なども駅なか交流センターの維持管理としましたが、これらは1日2265人の駅の乗降客のための施設で、市が払う必要はないものです。駅の施設であり駅が負担すべきトイレや通路などに年966万円もの維持管理費を半永久的に払い続けるなど、とんでもありません。今回も今までのようにJRの言い分を認めれば、当市はこれから何十年も、駅の維持管理費をJRに払い続けなければなりません。30年で3億円ほどの市費は、市民のために使うべきです。

〔市長〕 390万は市が市内の公共施設の維持管理の実績に基づいてはじいた数字です、966万は新駅舎に類似した駅の維持管理のデータをJRからいただいた積算したものです。

## 一般質問

大館市議会

検索

クリック

### 大館の次は永田町を変える

田村 儀光 議員 (真政会)



〈問〉 市長の退職時期はいつ頃になると考えているか。

〔市長〕 次期衆議院議員選挙の時期を見極めつつ、可能な限り市政への影響が最小限になるよう判断する。

〈問〉 後継者指名をする考えはあるか。

〔市長〕 市長就任からの2期8年、私の掲げた政策を共に議論し、同じ方向性を持った方にこそ次期市政を担っていただきたいという思いから、この議場から選ばれてほしいと考えている。

〈問〉 新年度予算は骨格予算とするのか。

〔市長〕 国の動向を注視しながら、これまでの議会審議での御指摘や市民要望に十分に留意した上で、私の任期の集大成となるよう予算編成をしていく。

〈問〉 新たな道の駅整備を推進す

るため、全国道の駅連絡会の理事に就任した機を逃さず、関連予算を早期に予算化すべきと考えますが、市長の考えは。

〔市長〕 新たな道の駅の設置に向け、国や県の道路管理者と、その可能性について意見交換を重ねている。また、その核となる人材を育成するため、令和2年4月から全国道の駅連絡会へ職員を派遣し、情報収集や関係機関とのパイプづくりに努め、さらに、産業振興拠点施設を訪問し地元首長や関係者と意見交換するなど、調査研究を続けてきた。こうした積み重ねが実を結び、このたびの全国道の駅連絡会の政策担当理事への就任につながったものと捉えている。また、御提言の早期予算化については、準備が整い次第、速やかに予算案を上程したいと考えている。

〈問〉 田代岳を含む世界自然遺産白神山道を国立公園として指定するよう、関係自治体と取り組むべきと考えらるが。

〔市長〕 各自治体と民間団体、住民など多様な力を結集し、県とともに取り組むべき事業であり、まずは県境を越えた関係自治体や住民の機運の醸成が第一であると考えている。



## 総合病院と扇田病院の医療機能体制について

かねや  
**金谷 真弓** 議員（市民の風）



確保し、看護補助者、臨床工学士、  
診察看護師なども併せて活用し人工  
透析が良好な環境で行えるようにし  
てまいりたい。

### 手話通訳者の育成について

〈問〉市は、大館市手話言語の普  
及および障害者のコミュニケーション  
手段の利用の促進に関する条例を  
施行し、広く市民の方々に手話を知  
っていたりするために、手話養成講座  
を2年間のカリキュラムで行ってい  
るが、次のステップとして、手話通  
訳者の人材育成を行うのはどうか。  
また、窓口での対応をスムーズに行  
うために、手話対応ができる職員の  
配置、タッチパネルやUDトークア  
プリの導入を検討されてはどうか。

〈問〉民間の透析できる医院が閉  
鎖されたため、患者の受け入れを総  
合病院で対応しているが、受け入れ  
の上限の132人に対し、現在12  
0人まで迫っている状況である。総  
合病院のサブサポート先として、扇  
田病院にある休床のベッドの活用を  
検討してはどうか。

〔病院事業管理者〕 扇田病院で人  
工透析を開始する提案については、  
専門医や看護師などの確保が必要に  
なるほか、透析機器等の整備が必要  
となることから現状では難しいと考  
える。まずは、総合病院で看護師を

〔市長〕 配置については、手話通  
訳士の資格を有している方が少ない  
ことが大きな課題となっている。有  
資格者の情報を含め関係機関と協議  
し検討してまいりたい。また、市で  
は定例会の行政報告での手話通訳の  
ほか、窓口対応でコミュニケーション  
支援ボードを活用しており、引き  
続き障害への理解を深める取り組み  
を進めていく。

一般質問の全文は、3月上旬に、市のホームページへ  
掲載する会議録でご覧いただけます。  
また、議員の所属会派については、一般質問時点での  
所属会派を記載しています。

## 一般質問

扇田病院が地域で果たしている機能を正當に  
評価し、「慢性期多機能病院」として存続を  
表明すべき

くどう  
**工藤 賢一** 議員（市民の風）



〈問〉政策の進捗および目標達成  
状況の自己評価と、国政転身のため  
退職した後の展望について伺う。

〔市長〕 「暮らしをつないで内に  
優しく、まちをつないで外に強く」  
を政策の方向性に掲げながら、大館  
版mobiプロジェクトや大館駅イ  
ンランドデポ構想など先進的な取り  
組みを進めてきた。進捗率は7割程  
度と自己評価している。政策の実現  
に向けては「暮らしとまちを未来に  
導く羅針盤づくり」が重要であり、  
次期総合計画で本市の目指す将来像  
を継承し、次の世代に引き継いでま  
いりたい。

〈問〉事実上、2年連続の骨格予  
算編成となるのではないか。新規事  
業の抑制やシーリング設定などはな  
いか。

〔市長〕 令和6年度の当初予算編  
成に当たっては、「ポストコロナに

向けた地域経済活性化の推進」など  
の3つの基本方針を掲げ、「ひと・もの  
が行き交う北東北の拠点」、「国や県  
と強固に連携した医療環境」などの  
4つの重点項目を踏まえた方向性を  
指示している。これまでの集大成と  
なるような予算を編成する。

〈問〉国政転身のため市長の職を  
辞する時期の判断について伺う。

〔市長〕 退職の時期については、  
市政への影響が最小限になるよう、  
都度判断してまいりたい。

〈問〉委託している事業者より10  
月末に納品した「病院事業経営強化  
プラン素案」を公表すべき。

〔病院事業管理者〕 受託した業者  
と公表を前提とした契約を結んでい  
ないため、公表はできない。

〈問〉扇田病院を慢性期多機能病  
院として存続すべき。

〔病院事業管理者〕 国は医療を急  
性期、回復期、慢性期、包括ケアに  
細分化して医療の効率化を図ろうと  
しているが、これはあくまで都会の  
論理。急性期病院といえども受診す  
るのが高齢者が多く、慢性期に対応  
できないと市民が混乱する。総合的  
に診る力が必要。これからも地域に  
根差した医療政策を行いたい。

## 有害鳥獣による農作物被害・人身被害が発生している。市の対策は

田村 秀雄 議員（真政会）



〔市長〕 鳥獣被害を防ぐ対策として、捕獲が最も効果的であることから、市鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動を一層強化してまいりたい。特に、人身被害が発生しているクマ対策では、捕獲用箱わなを新たに10基追加し、全部で30基設置できる体制の強化をしていく。また、電気柵の設置費用や新規の狩猟免許取得に係る費用についても引き続き支援を行うとともに、関係機関と連携し官民挙げて対策に取り組んでいく。

〔市長〕 水稲から畑作物にかじを切り、畑地化を行った農業者は、所得の減少に直結し、離農や耕作放棄地の増加が懸念されるなど、地域農業に大きな影響を与える制度変更である。市では、国の「畑地化促進事業」を活用し、野菜や果樹などの高収益作物や、麦や大豆など栽培に取り組み農業者に対し支援してまいりたい。

〔市長〕 本庁舎建設事業外構工事は、これまで3回入札を実施したが、落札に至らなかった。今後、設計単価や工期等の条件を見直した上で、次の入札に向けて準備を進めてまいりたい。

## 輸出事業拡充についてふるさと納税について

石垣 博隆 議員（真政会）



〔市長〕 国策で推進している農産物の輸出強化について、市としても積極的に取り組むべきではないか。

〔市長〕 政府は輸出拡大に必要な設備投資への支援や輸出手続きの円滑化などの取り組みを強化している。一方、本市でも議長・副議長に同行いただきながら、フランスやタイ王国、台湾でのトップセールスを行ってきた。大館産農産物のブランド化など、海外展開が必要になると確信しており、カメイ株式会社からの米輸出事業の提案を好機と捉え、海外展開のフレームづくりを進める必要があると考えている。大規模な保管庫や検査体制などの課題もあるが、県やJAなどと連携しながら、公共施設の倉庫活用、国の補助金活用による施設整備などに取り組んでいきたい。

〔市長〕 本市のふるさと納税額は、

令和4年度で約9億7800万円に上り、6年連続で過去最多を更新している。令和5年度はさらなる伸びが期待されているが、今後の課題として、返礼品の安定供給や新商品の開発など、ふるさと納税の仕組みの見直しも必要と考える。寄附金を産業振興への投資に使い、新たな返礼品を作り、安定供給することができれば、さらなる納税アップができるはずである。持続可能な産業とふるさと納税を両立する新たな仕組みとして、例えば、地域商社の設立などを検討しているか伺う。

〔市長〕 寄附額10億円達成に向けて、今年度はふるさと納税サイトの追加や旅先納税にも取り組んでいく。寄附額10億円達成は一つの通過点と考えているが、返礼品の供給量確保といった課題があることから、寄附金を活用して、返礼品の確保や磨き上げ、新商品の開発などを支援していく。さらなる寄附拡大に向けては、地域農産物・工芸品などのマーケティングや販路開拓、新商品プロデュースを行う地域商社の存在が鍵となる。どのような支援が可能か検討していく。

大館市議会

検索

クリック

## 一般質問



## 市立病院での眼科の手術対応について 秋田犬の里を道の駅にしてにぎわいを 災害時の情報発信について

相馬 そうま エミ子 えみこ 議員 (市民の風)



〈問〉 高齢化の進展に伴い、白内障や網膜剥離の患者が増加している

が、市内で手術できる病院が少なく、半年以上も待たなければ手術できない状況である。また、緊急の場合は弘前市や秋田市の病院を紹介しているが、ほとんどが高齢者のため、通院もままならないなど苦情の声が上がっている。医師不足であれば、医師確保に努め、対応すべきでないか。

〔病院事業管理者〕 現在、総合病院に眼科の常勤医がおらず、不便をおかけしている。これは大学医局の眼科医局員の減少によるもので、多くの関連病院が眼科医不在となっている。今後も大学眼科医局と連携を深め、常勤医派遣に向け努力していく。

〈問〉 ドライブ中にほっと一息つける場所、それが道の駅である。地域の拠点として、にぎわいの中心的

存在でもある。本県では33の道の駅が登録されており、地域経済に大きく貢献している。大館駅前にできた秋田犬の里は、犬一匹の建物にしては少し大き過ぎると思う。秋田犬の里を道の駅にして駅前のにぎわいを取り戻すというのはいかがか。広い駐車場もあり、道の駅としての条件が整っていると思う。

〔市長〕 秋田犬の里は令和元年5月にオープンして以降、昨年4月で来館者50万人を達成。10月にオープンした大館駅舎との相乗効果により、さらなる経済波及効果が期待されている。また、ハチ公でつながった渋谷区とご縁で実現したHAC H100プロジェクトでは、190を超える企業や団体にパートナーとして参画いただいた。市のPRのほか、パートナー企業同士の新商品開発など、経済波及効果は計り知れないものがある。今後も秋田犬の里がにぎわいの場所となるよう取り組んでいく。

〈問〉 災害が発生した時の情報発信について伺う。

〔市長〕 災害時の情報発信については、確実に周知できるよう、伝達の多重化、多様化を図っていく。

一般質問の全文は、3月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

## 一般質問

## 総合計画策定のための意見聴取について 旅先納税・ふるさと納税について ミニパブリックスについて

吉田 よしだ 勇一郎 ゆういちろう 議員 (令和会)



〈問〉 次期総合計画策定に当たり、子育て団体、移住者、外国籍の居住者への意見聴取を行っているが、どのような課題が抽出され、どのように解決しようとしているのか。

〔市長〕 いただいた意見は、外からの視点をもった大館市民の行政ニーズであると捉えている。災害が少ない、住環境が静か、安心・安全なまち、発信すべき産品が多い、自由度が高く挑戦しがいがあるなどの意見がある一方、交通の便が良くない、働ける場所が少ない、子育てしながら働ける仕事が少ない、育児保育施設が少ないなどの意見もあった。まちづくりの主要課題として短期的重点戦略に反映させていく。

〈問〉 7月3日より開始した旅先納税の利用状況は。

〔市長〕 2件と少ない。寄附件数の伸び悩みは、県内で旅先納税を先行導入した自治体も同じ傾向にある。ターゲットである観光客に対して旅先納税を促す積極的な取り組みが不足していた。認知度の向上と利

用拡大に向けて取り組んでいく。

〈問〉 ふるさと納税のポトルネットは返礼品の供給量であり、それを解消するために地域商社をつくり、安定的な販路と供給量を確保し商品開発を促そうとしているという理解でよいのか。

〔市長〕 その認識で合っている。返礼品のラインナップ充実と安定した返礼品の供給量確保が課題と考えており、地域ブランド創出・拡大に資する取り組みへの支援を追加した。今後は供給量確保に必要な貯蔵施設整備への支援、地域産品のマーケティングや販路開拓、新商品のプロデュースに取り組みとする事業者への支援についても検討していく。

〈問〉 地域課題解決への市民参加を促進する手段として、ミニパブリックス(くじ引き民主主義)の導入を検討してはどうか。

〔市長〕 市の基本的な政策に関する計画や指針等を策定する際にはパブリックコメントを実施し、寄せられた意見・情報を政策形成に反映させている。新規事業でもワークショップを開催している。行政組織の強みを発揮する上で、市民に参画していただくためのいろいろなメニューを考えていかなければいけないが、ミニパブリックスも有効な手段の一つと考えている。導入について前向きに検討していく。



# 常任委員会から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。ここでは12月定例会の審査の概要をお知らせします。

## 総務財政常任委員会

次期大館市総合計画  
「おおだて未来づくり  
プラン」(仮称)

令和6年度からの次期大館市総合計画「おおだて未来づくりプラン(仮称)」の案について、企画調整課から概要が示された。次世代を見据えたニューノーマル社会への対応等、先行きが不透明な将来の羅針盤となるもので、プランの期間は4年間である。まちづくりの将来像を基本構想として位置付け、短期的な重点戦略から構成されており、分野別戦略は6つに分かれている。健康・医療・福祉の分野では、子育て支援やともに支え合う社会の実現、持続的な医療の提供などを項目に掲げ、また、農林・商工の分野では、地元食材を活用した新ブランドの創出やDX・GXによる経営革新件数などで目標値を定めている。さらに、横断的戦略としては、行政手続きのオンライン化や福祉・医療・農林業分野等



総務財政常任委員会の様子

でのICT活用支援など、デジタル化の推進も掲げているほか、再生可能エネルギーの導入などにより、カーボンニュートラルの実現も目指している。なお、各施策にはSDGsの17の目標を関連付け、計画の推進に取り組むこととしている。

## 厚生常任委員会

大館市病院事業経営強化  
プラン(案)について

大館市病院事業経営強化プラン(案)について、当局から説明があった。同プランは、持続可能な地域医療提供体制の確保を目的に、本市病院事業の経営強化を図るため策定するもので、令和6年度から9年度までの4年間で対象期間としている。地域の人口減少や医療需要の見直し、二次医療圏再編を踏まえ、総合病院は、中核病院としての役割を果たすため、地域救命救急センターや訪問看護ステーションの開設、緩和ケア病棟への一部転換など必要な機能の整備を図る。扇田病院は、医療従事者確保の観点から病床数の見直しが避けられないものの、慢性期の医療需要推計を鑑みると、プラン期間内は一定の病床数を確保する必要があるため、現在の2病棟104床を、1病棟40床体制に見直す方針である。今後、関係団体等からの意見聴取やパブリックコメントを経て、令和6年3月末までに同プランを策定する予定である。

脱炭素先行地域への応募  
募について

脱炭素先行地域への応募について、当局から説明があった。脱炭素先行地域とは、国が進める2050年カーボンニュートラル実現に向け、脱炭素の取り組みについて先行的なモデルとなる地域を選定するもので、本市では花岡地区を対象エリアとし、太陽光発電設備の普及促進を図るほか、事業所等が発電した再生可能エネルギーを地区内に供給することなどを検討しており、事業所との共同提案で応募する予定である。現地調査では、共同提案予定の事業所や、木質バイオマス発電設備の設置を検討している花岡総合スポーツ公園の産業振興棟を視察した。



現地調査の様子

## 教育産業常任委員会

### クマによる被害状況と対応について

今年度のクマの出没・被害・捕獲の各件数は、最も多かった平成29年度と比べても大きく上回っている状況であった。

出没件数や被害件数を月別で見ると、例年は減少傾向にある9月以降も引き続き増加しており、捕獲頭数は月平均で40頭を超えている。



教育産業常任委員会の様子

被害の状況は11月14日時点で、水稲、粟や柿などの農作物被害83件、車両衝突を含む物損被害24件人身被害が7件と過去最多となっている。

年間の捕獲頭数は平成29年度の81頭が最多であったのに対し、今年度は205頭と突出した状況である。

市では、被害防止のため、既存の捕獲用のおり20基に加え、新たに10基を発注したほか、捕獲に当たっている猟友会など鳥

獣被害対策実施隊に対する活動費や慰労金について追加補正を行い、引き続きクマ対策に努めるとしている。

委員からは、猟友会の負担の増加や会員の高齢化についての質問が挙げられたが、当局は、狩猟免許取得費用の補助や会員勧誘活動などを行いながら、会員増に努めたいとのことであった。

## 建設水道常任委員会

### 道路除排雪計画について

令和5年度の道路除排雪計画について、当局から説明を受けた。この計画は道路除排雪基本方針として「交差点周辺は、歩行者や車両の見通しが悪くならないよう、また、段差やわだちが生じないような除排雪に努める。歩道や通学路の除排雪を優先して行い、安全な歩行者空間の確保に努める。除雪車運行管理システムや降雪センサー等を活用し、的確な出動を遂行し、除排雪の効率化に努める」ことなどの報告があった。また、オペレーターの高齢化や人手不足が心配される中ではあるが、昨年度と比べ委託業者数が9社増えることが報告された。



### 和の迎賓館「桜櫓館」の多様な利活用の推進について

現在桜櫓館の利用形態は貸館利用となっているが、民間活力を導入し、軽食や飲み物の提供、特産品や青果物等の販売を可能にし、さらなる利活用を促進するため、今後、公募型プロポーザル方式での維持管理・運営先を選考・決定していただくことが報告された。



建設水道常任委員会の様子

# 私もひ・と・ひ・と 第52回

かた おか えい こ  
**片岡英子**さん (下代野)



## 民生委員一年生

昨年より私の民生委員としての活動がスタートしました。私が思っていた民生委員活動は、高齢者宅に家庭訪問していろいろなお話を聞いたり、困り事の相談を受けたりすることと認識していました。いざ、研修を受けると実際の活動が多岐にわたるため、なかなか覚えられずクエスチョンマークいっぱいでした。先輩の民生委員の方に、こんな時はどこに連絡すればいい

のか、このことはどこに聞けばいいのかを一つひとつ教えていただきました。そして、65歳以上の実態調査のため131人に家庭訪問した結果、民生委員と地域住民との信頼関係ができていことに感銘を受けました。

また、介護認定が必要な方の包括支援センターへつなぐことも大事な活動の一つです。よく、診療所の医師は「かかりつけ医を持ちましよう」と話されますが、私が訪問した中で、高齢で薬も服用せず、体も悪いところがなく病院にも通っていない方がおりました。このことは素晴らしいことだと思います。しかし、実際に介護認定を受けなければならぬ状態になると、包括支援センターの担当者は病院探しから始めなければならず、すぐに使いたいサービスを受けるのが難しく時間もかかってしまいます。日頃から介護認定

下代野在住、昭和生まれ、太極拳を始めて3年。手話が特技で、手話歴40年、秋田国体のおり、手話通訳の経験をも。今後は手話で交流を持ち、健康長寿を目指したい。

について家族や知人などに話しておくことの必要性を感じています。

民生委員は、厚生労働大臣からの委嘱で活動しています。長年頑張ってきた方が交代したくても受け継ぐ方が見つからず大変な思いをしています。私自身も実態調査される側の年齢ですが頑張ってみようと思えます。

でも、本当に今のままの体制ではないのでしょうか。ほとんどがボランティアで、何かにつけて個人情報報うんぬんがぶら下がり活動しづらいと思うこともあります。市政としても、今の状況で大丈夫と思っているのか、後継の方のためにもできるところを考えてほしいです。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。また、表紙の写真についても募集しています。

議会事務局までご連絡ください。

## 所属会派異動のお知らせ

- ・石田 健佑議員 真政会→無所属 (令和5年11月27日付)
- ・金谷 真弓議員 市民の風→真政会 (令和5年12月12日付)
- ・明石 宏康議員 市民の風→真政会 (令和5年12月12日付)

## 編集後記

知事の発言がきっかけとなり秋田の購入者が増加した「じゃこ天」。市内きりたんぼ店とのコラボなど経済的に様々なプラス効果をもたらし、まさに「禍を転じて福と為す」結果に。コミュニケーション上、誤解や食い違いが生じることはよくあることですが、トラブル解決には「相手を尊重する気持ち」と、「誠実な対応」が重要だと改めて気付かされました。



今後の活動に生かそう！とじゃこ天 焼きと熱燗（大館のお酒）のコラボを楽しんでいます。

(工藤 賢一 記)